

公益財団法人 北九州国際交流協会

公益財団法人 北九州国際交流協会

I 法人の概要（平成 28 年 4 月 1 日現在）

1 所在地

北九州市八幡西区黒崎三丁目 15 番 3 号 コムシティ 3 階

2 設立年月日

平成 2 年 7 月 25 日

3 代表者

理事長 高城 壽雄

4 基本財産

300,000 千円

5 北九州市の出捐金

300,000 千円（出捐の割合 100.0%）

6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	7 人	0 人	1 人	6 人
常 勤	1 人	0 人	1 人	0 人
非常勤	6 人	0 人	0 人	6 人
職 員	13 人	2 人	1 人	10 人

7 市からのミッション

- ① 外国人市民が地域住民として日本人市民と対等に活躍できる社会を実現するため、外国人市民の社会生活適応と自立を支援する。
- ② 行政と市民団体、企業、大学などとの協働をコーディネーターとして促進することにより、外国人市民と日本人市民が共生できる活力ある社会をめざした地域づくりを行う。
- ③ 世界に開かれたまちづくりを進めるため、グローバル人材の発掘と育成を行う。国際的な視野と行動力を持つ若者を育てるとともに留学生等外国人高度人材への情報提供を密に行い、地域定着希望者への支援を行う。

II 平成 27 年度事業実績

本協会は、「多文化を受け入れ世界に開かれた魅力ある地域づくりと人づくり」という長期ビジョンの下、「1 外国人市民の支援」、「2 行政・民間団体連携」、「3 グローバル人材育成」の 3 つの分野における事業を実施した。

1 外国人市民支援事業

(1) 多言語による生活情報の提供

日本語を十分に理解できない外国人市民に対して、地域生活において必要となる情報を多言語で様々な媒体や機会を利用して提供した。

① 外国人市民への情報提供

タイムリーな情報発信として、日本語、英語、中国語、韓国語、やさしい日本語でのメールマガジンを発行した。

メールマガジン登録者数：日本語 356 人、英語 75 人、中国語 50 人、韓国語 18 人、
やさしい日本語 58 人 合計：557 人

② ホームページによる広報

多言語（日本語・英語・中国語・韓国語・やさしい日本語）のホームページを活用して、最新のイベント情報や生活情報、協会事業や県内の国際交流など外国人市民への情報提供を行った。

アクセス数：日本語 24,268 件、英語 1,718 件、中国語 561 件、韓国語 404 件、
やさしい日本語 531 件 合計 27,482 件

(2) コミュニケーション支援事業

コミュニケーションに困難を感じている外国人市民に対して、地域社会において孤立することなく、日本人と共生できるように支援を行った。また、日常生活の上で発生した悩みや課題を、専門家と協力しながら解決に向けての支援を行った。

① 外国人相談

ア 専門家相談

*入国・在留・国籍手続き相談（福岡県行政書士会と共催で月に 1 回開催）

相談件数：39 件

*法律相談（福岡県弁護士会北九州部会の協力のもと月に 1 回開催）相談件数：9 件

*心理カウンセリング（臨床心理士による相談会を随時募集）相談件数：0 件

イ 外国人インフォメーションセンターにおける一般相談

八幡西区及び小倉北区の 2 か所において、外国語相談員が日本語・英語・中国語・韓国語での相談業務や情報提供を実施した。相談内容によって前記の専門家相談へつなぐことで課題解決への一助となった。 相談人数：592 人 相談件数：800 件

ウ 北九州外国人支援関係機関連絡会議の開催

外国人支援に関わる関係者の情報交換会を開催し、各立場での状況や内容について意見交換を行うことで関係機関の緊密な関係を築き、外国人の抱える課題や傾向について情報共有を行った。

開催日：9 月 3 日（木）、2 月 4 日（木）

会 場：八幡西生涯学習総合センター 会議室

参加者：福岡県弁護士会、福岡県行政書士会、教育委員会など

② 行政通訳派遣

ア 外国人インフォメーションセンター小倉北区役所出張所

北九州市の委託を受けて、上記での外国人通訳サービス事業に行政通訳者を派遣し、外国人が区役所での手続きを円滑にできるよう通訳サービスを実施した。

派遣日数：51 日 派遣人数：英語 50 人、中国語 50 人

イ 行政通訳個別派遣

北九州市の委託を受けて、日本語によるコミュニケーションが困難な外国人市民のために、区役所や学校などに行政通訳者を無料で個別派遣した。

派遣件数：59件 派遣者数：69人

言語：中国語29人、英語25人、韓国語6人、タイ語4人、タガログ語3人、インドネシア語2人

内容：子育て支援①子供関係・・・17件

(学校・保育所・児童相談所・福祉施設《障害者支援含む》)

子育て支援②母関係・・・14件

(保健師等の妊産婦訪問指導、離乳食・マタニティ室等)

介護保険、老人保健福祉・・・10件 その他・・・18件

③ 医療通訳派遣

日本語でのコミュニケーションが難しい外国人市民が安心して医療機関を受診できるように、医療通訳者を医療機関などへ派遣した。また、制度周知を図るため無料お試しキャンペーンを実施した。

派遣件数：23件 派遣人数：22人

言語：中国語10人、英語4人、タイ語4人、韓国語3人、タガログ語1人

診療科：産科5件、小児科5件、内科4件、外科3件、精神科3件、他3件

④ 外国人市民への防災支援

ア 外国人市民対象の防災講習会

日本語でのコミュニケーションが難しく、かつ災害に関する知識や経験があまりない市内在住外国人市民を対象に、日本で起こる災害や緊急時の対策について基本的な知識を学ぶ講習会を実施した。

*第1回 開催日：1月27日(水)

場所：こくらAIMビル3F(子育てふれあい交流プラザ)

内容：119番通報練習、日本語での救急車・消防車の要請練習

協力：小倉北消防署予防課 参加者数：7人(4か国)

*第2回 開催日：1月28日(木)

場所：コムシティ7F(子どもの館 会議室) 内容：同上

協力：八幡西消防署予防課 参加者数：7人(3か国)

*第3回 開催日：3月5日(土)

場所：福岡市民防災センター 参加者数：20人(5か国)

内容：模擬訓練(消火器、地震体験、強風体験、火災時避難など)

イ 災害時通訳サポーターのフォローアップ

日本語によるコミュニケーションが難しい外国人に対し災害時に文化や習慣の違いを踏まえ、通訳あるいは翻訳等の言葉の支援を行う通訳者を対象にフォローアップ研修を行った。

開催日：2月20日(土)

場 所：八幡西生涯学習総合センター会議室 講 師：北九州市危機管理室

内 容：災害緊急時の対応～避難所の現状と諸問題

避難所での逐次通訳ロールプレイ、意見交換

参加者数：19人（英語、中国語、韓国語、タガログ語、ドイツ語）

ウ 防災に関する広報ツールの配布

日本での防災対策として、多言語による緊急時の連絡先や発信される言葉についての啓発ツールを作成した。また、前年度までに作成したツールの配布を行った。

*避難所指さし会話帳

大規模災害の際に避難所で頻繁に使われる用語やルールについての多言語版指さし会話帳を作成した。

内 容：避難所とは、避難所でのルール、指さし会話集、避難者情報質問票

言 語：日本語（ルビつき）、英語、中国語、韓国語

作成数：1,000部 サイズ：A4版、12ページ

（配布したツール）

※平成26年度までに作成したもの（多言語防災啓発シール、防災啓発手ぬぐい）

⑤ 外国人子ども支援

外国につながるのがある児童生徒を対象に、学習支援の場として「放課後にほんごひろば」及び「夏休みにほんごひろば」を実施した。

ア 放課後にほんごひろば

外国につながるのがある児童生徒を対象に、教科学習や宿題のサポートを行う教室を市内2ヶ所で実施した。

【小倉】開催場所：小倉中央市民センター 開催回数：28回

開催期間：5月～2月 毎週火曜日 17:00～18:30

学習者のべ人数：92人（国籍 スリランカ、韓国、中国）

学生ボランティアのべ人数：13人

【八幡】開催場所：北九州市立医生丘市民センター 開催回数：30回

開催期間：5月～2月 毎週木曜日 16:30～18:00

学習者のべ人数：173人（国籍 インドネシア）

学生ボランティアのべ人数：53人

イ 夏休みにほんごひろば

夏休み期間中に集中して苦手な教科を勉強したい、夏休みの宿題をひとりで終わらせるのが難しいという外国人児童生徒や、国際結婚による多文化家族の児童生徒を対象に学習支援教室を実施した。

開催場所：本城西団地集会所

開催期間：8月18日（火）～21日（金）10:00～12:00

学習者のべ人数：38人（国籍 インドネシア）学生ボランティアのべ人数：4人

⑥ 外国人生活者支援

ア ママとパパのためのほんご教室

子育て中の外国人主婦（夫）を対象に、生活に必要な日本語や生活情報を提供する場として市内2ヶ所で教室を実施した。また、自宅学習を希望する学習者に対し、レベル別に教材を作成し授業後に添削・解説を行う「自宅学習コース・しゅくだい日本語」を試行実施した。

【小倉】開催場所：北九州市立子育てふれあい交流プラザ

開催期間：毎週水曜日 10：30～12：00 開催回数：42回

参加者数：のべ231人(国籍 中国、韓国、フィリピン、タイ、ベトナム、ケニア)

【八幡】開催場所：北九州市立子どもの館

開催期間：毎週木曜日 10：00～12：00 開催回数：42回

参加者数：のべ231人(国籍 中国、フィリピン、インドネシア、タイ、アイルランド)

※ 日本語学習のほか、各団体の連携を得て両教室で生活情報の授業を行った。

開催回数：12回（4月～3月）

内容：和食の基礎、訪問時の敬語とマナー、仕事を探そう、家庭ごみの分別、防災クッキング、消費者トラブルに気をつけよう、パソコンの基礎、119通報体験、暮らしの擬音語・擬態語

イ 生活者としての外国人を対象とした「日本語おしゃべり発表会」の開催

日本語教室のボランティアの有志と連携し、外国人住民が、年齢、在留資格、日本語レベル等を問わずに参加できる発表会を開催した。出場者は、多様な分野・視点から個々の日本語で発表することで日本語学習のモチベーションに繋げるとともに、日本人住民にとっては、地域に住む外国人の声を聞く機会とした。

発表会では、発表者と来場者が交流できるプログラムを行ったり、JICA活動紹介パネルや三菱アジア子ども絵日記グランプリ作品の展示などを行い、国際理解と多文化共生啓発を行った。

開催日：1月31日（日）14：00～17：30

開催場所：北九州市立美術館黒崎市民ギャラリー

発表者数：25人 来場者数：約250人

出身国：韓国、中国、インドネシア、ベトナム、米国、モンゴル、フィリピン、アイルランド

実行委員数：12人 実行委員会：全5回（9月～1月）

※多文化共生パネル展 1月29日（金）～31日（日） 入場者数：450人

ウ 地域日本語教室の広報支援

地域の日本語教室を支援するため、市内日本語教室リストを作成し区役所等で配布するとともに、協会のホームページにおいても情報提供を行った。

⑦ 中国帰国者の交流支援

北九州市の委託を受け、中国帰国者が地域社会で孤立することなく、社会的自立がなされるように、地域住民との交流会や学習会などを開催した。

また、日本語会話教室を週1回開催した。

ア 交流会・学習会

開催月：6月、11月、1月、2月 開催回数：4回

内容：健康と体力についての講話、健康体操、 研修バスツアー（トヨタ九州工場
見学他）、健康な食事の話と調理実習、 春節交流会

参加者数：のべ81人、通訳・ボランティア9人

イ 中国帰国者のための日本語会話教室

開催日時：月4回程度 金曜日 10：00～12：00

開催回数：40回 出席者数：のべ143人

ウ 会話パートナー研修

中国帰国者の会話パートナー（ボランティア）の活動に対する意義、理解を深めるため
の研修を実施。 会話パートナー登録者数：8人

「ココロに寄り添う」～傾聴を基軸とした講座とワークショップ

開催日：3月18日（金） 開催場所：北九州国際交流協会ミーティングルーム

参加者数：10人

(3) 多文化共生啓発事業

地域における多文化共生を推進するため、市民に対して多文化共生の地域づくりについて啓
発を行った。

① 多文化共生啓発

学習会やイベントを通じて多文化共生へ啓発や理解を深める事業を実施した。

ア 「西日本インポートフェア」へのブース出展、事業協力

開催日：5月2日（土）～5月6日（水）5日間 会 場：西日本総合展示場

内 容：協会および多文化共生PR、フェアトレード団体出展

イ 「国際村やはたんピック～外国人＋日本人 仲良くカラダを動かそう～」

八幡・国際通りを中心とする国際村交流会の構成団体と協力し、地域のまちづくりと北
九州市の多文化共生を推進するため、地域住民である日本人と市内在住の外国人やJICA
研修員が参加して、風呂敷等の日本文化紹介を取り入れたゲームやレクリエーションを
実施した。

開催日：10月17日（土） 会 場：JICA九州 体育館 参加人数：54人

ウ 「多文化共生わいわい祭り」への出展、事業協力

開催日：11月3日（祝） 会 場：北九州YMCA（小倉北区）

主 催：多文化共生わいわい祭り実行委員会（北九州市、（公財）北九州YMCA、
キーネット、（公財）北九州国際交流協会）

内 容：多文化共生PR、世界の民族衣装体験

来場者数：260人（協会ブースのみ）

エ 「市民ふれあいフェスティバル」へのブース出展、事業協力

開催日：11月15日（日） 会 場：ウェルとばた（戸畑区）

主 催：市民ふれあいフェスティバル実行委員会、北九州市社会福祉協議会

内 容：活動紹介パネル展示、世界の民族衣装体験

オ 市民カレッジ「もっと身近に！国際交流とボランティア」

生涯学習総合センター事業の1コースのコーディネートを担当した。

開催日：全5回 1月9日(土)、16日(土)、23日(土)、2月6日(土)、2月13日(土)

会場：八幡西生涯学習総合センター会議室 受講登録者数：33人

内容：第1回 多文化共生ってなんだろう？&外国人インフォメーションセンターで働く人の声を聞いてみよう！

第2回 多文化共生先進国オーストラリアの話を聞いてみよう！

第3回 「通訳ボランティア」「留学生ホストファミリーボランティア」「英国出身の国際交流員」から話を聞いてみよう！

第4回 JICA青年海外協力隊OB・OGから話を聞いてみよう！

第5回 日本語コーディネーター、日本語ボランティアの話を聞いてみよう！

② 多文化共生の人材づくり（ひとみらいプレイス受託事業）

ひとみらいプレイス関係団体と連携を図りながら、地域で暮らす日本人と外国人とが互いの違いを理解し双方の文化に触れながら、将来の多文化共生を担う人材育成を目指した事業を実施した。

ア キーネットパネル展

「北九州国際交流団体ネットワーク」加盟団体のうち、希望する団体に活動内容を紹介するパネルを作成してもらい展示した。

開催期間：10月21日～11月20日

場所：ひとみらいプレイス通路 参加団体：16団体

イ 英語で語る自分の国「英国」

ひとみらい交流ウィークに合わせ、北九州国際交流協会で活躍する国際交流員によるスピーチイベントを開催した。

開催日：11月7日(土) 参加者：66人

ウ 国際交流まつり～世界のママの味～

ママパパ日本語教室参加者等の社会的な自立を支援し、かつ外国の文化について食を通じて理解してもらうためのイベントを「ひとみらい交流祭」期間中に実施した。

開催日：11月8日(日) 来場者：500人

出品国：5カ国（フィリピン、インドネシア、タイ、マレーシア、中国）

エ 英語で語る自分の国「英国」 ※中学生・高校生対象

ひとみらい交流ウィークに実施した国際交流員によるスピーチイベントを中学生・高校生にもわかりやすくアレンジし、英語に興味を持つ青少年を対象に実施した。

開催日：12月19日(土) 参加者：26人

オ 「英語で楽しもう」

国際交流員やALTが講師となり、小学生を対象に英語に親しみ交流する講座を開催した。

*第1回 英語でゲーム 開催日：3月6日(日) 参加者：19人及び保護者13人

*第2回 ソング&ダンス 開催日：3月13日(日) 参加者：13人及び保護者13人

カ ひとみらいプレイス入居団体パネル展

ひとみらいプレイスの入居団体の活動内容と知名度を上げるため、各施設紹介のパネルを作成し展示した。

開催期間：3月16日～25日 場所：ひとみらいプレイス通路 団体数：11団体

2 行政・民間団体連携事業

(1) 民間団体の支援・連携推進事業

北九州市が進める国際施策の一翼を担うことができるよう、北九州地域の国際交流団体の活動の支援を行った。

① 北九州国際交流団体ネットワーク（キーネット）支援

北九州地域の国際交流団体ネットワーク組織であるキーネットの加盟団体相互の情報交換等の活動を支援した。

② 民間団体の活動支援

本市の国際化及び多文化共生に貢献している民間団体の活動が、広く世間に評価されるように表彰事業に民間団体を推薦した。また、民間団体と連携・協働するとともに、民間団体が開催する事業の共催や後援、当協会が配信するメールマガジンに情報提供し広報支援等を行った。表彰推薦：6件（うち受賞3件） 共催：8件 後援：25件

(2) 行政との連携推進事業

① 行政通訳派遣（再掲）

ア 外国人インフォメーションセンター小倉北区役所出張所 イ 行政通訳個別派遣

② 外国人市民への防災支援（再掲）

ア 外国人市民対象の防災講習会 イ 災害時通訳サポーターのフォローアップ

ウ 防災に関する広報ツールの配布

③ 中国帰国者の交流支援（再掲）

ア 交流会・学習会 イ 中国帰国者のための日本語会話教室 ウ 会話パートナー研修

④ 多文化共生の人材づくり（再掲）

3 グローバル人材育成事業

(1) 国際理解教育の推進事業

異なるものを理解・尊重する社会的な土壌をつくるために、市民を対象にした国際理解教育を推進した。

① 国際理解教育講師の派遣・紹介（福岡県・福岡市協働事業）

異文化理解に関心を持つ市民を対象に、世界の文化や習慣を体験的に学んでもらうため、小・中・高等学校や市民センター等へ外国人市民などを国際理解教育の講師として派遣する事業を福岡県、福岡市、北九州市の3協会の協働事業として実施した。

派遣先：北九州市内の小・中学校12校、その他1件 派遣講師数：25人

② 国際交流員派遣

国際交流員が講師となり、市民センターや学校等で、自国の生活や文化などを紹介することにより市民の異文化理解を促進した。

依頼による派遣 派遣件数：9件(5月～3月)

派遣先：北九州市立霧丘市民センター、北九州市民通訳協会、周望学舎
クリスマスお楽しみ会（公文式八幡大蔵教室）他

③ 国際理解教育の推進

異文化理解を推進する事業を実施した。

ア 「英語（日本語）で語る自分の国」

海外出身者が自国の文化を紹介することで、海外の文化を生の声で聴き身近に感じてもらい、グローバル化する現代に必要とされる英語に親しむ機会を提供した。

開催日：5月17日（シンガポール） 7月18日（ニュージーランド）

9月28日（ペルー）

11月7日（英国） ※ブックリサイクルを同時開催 来場者：185人

1月17日（フランス） 3月20日（インド）

開催回数：6回 参加者数：のべ298人

イ 時事講演会「ニュースにも出ない現代の西欧について」（日本語による講演）

平成27年7月26日（日） 講師：アンドリュー・バートン 参加者：20人

ウ 英語で語る自分の国「英国」 ※中学生・高校生対象（再掲）

エ 気ままにセミナー（主催：八幡西生涯学習総合センター）

開催日：1月30日・2月27日（土） 全2回

テーマ：第1回「国際交流のための日本語コミュニケーション入門」

第2回「もっと自信をつけるためのやりなおし英語入門」

参加登録者：27人

※ 講師として、協会職員の他、ママパパ日本語教室受講者（9名）、ALT・国際交流員（5名）等が参加して日本人受講者と会話し、外国人のエンパワメント支援も目的として実施した。

④ インターンシップの受入れ

大分大学1人、北九州市立大学2人、西南女学院大学3人 計3回/6人

(2) ホストファミリーの支援及び連携

国際交流や異文化体験を希望する家庭にホストファミリーボランティアとして登録してもらい、ホームビジットの実施や留学生と交流する機会の提供を行った。また、ホストファミリー同士の意見交換会やホストファミリー向けの異文化理解講座を実施し、情報交換やフォローアップを行った。

① ホームビジット

JICA研修員を家庭に招き、お互いの交流を通じて相互理解と親睦を深めた。

実施日：11月14日 参加外国人：10人 受入家庭：7家庭

② 留学生にここが家族

市内大学に通う留学生とホストファミリーとの半年、又は1年にわたる交流を支援した。また、留学生やホストファミリー同士の交流を深める交流会やバスツアーを実施した。

参加留学生数：53人（春期27人、秋期26人） 受入家庭：のべ42家庭

対面式：春期 6月13日（土）・14日（日） 秋期 10月24日（土）・25日（日）

*春の交流会

開催日：7月4日（日）ミニどら焼き作り

参加留学生数：4人 参加ホストファミリー数：3家族（4人）

*バスツアー交流会

開催日：11月28日（土） 目的地：赤村里山散策と古民家体験

参加学生数：18人 参加ホストファミリー数：8家族（17人）

③ ホストファミリー意見交換会

プログラムに参加している家庭同士の情報交換や交流を深めるために意見交換会を実施した。

開催日：6月13日（土） 13:00～14:00

開催場所：北九州国際交流協会 交流スペース

参加者数：ホストファミリー12家庭（18人）

④ ホストファミリー向け異文化理解講座

近年増えているインド出身の留学生の受入れをよりスムーズにするため、インド人講師を迎え、ヒンズー教についての説明やベジタリアンに対応する料理の紹介などを行った。

「ヒンズー教&ヒンズー教徒向け料理について」

開催日：2月27日（土） 10:30～12:30

開催場所：北九州国際交流協会 ミーティングルーム

講師：クマル・ダルメンドラ 参加者数：ホストファミリー6家庭（11人）

(3) 留学生等の支援

① 留学生への情報提供

新しく北九州市に転入してきた留学生に対して、大学のオリエンテーション等で生活に必要な情報や協会の外国人支援情報等を提供した。

② 留学生支援

ア 中古自転車の提供 提供台数：30台

北九州市建設局から提供を受けた中古自転車を修理再生後、各大学・専門学校の留学生担当課を通じて希望留学生に提供した。

イ 映画料金の割引

留学生は、北九州市内の映画館の窓口で学生証と在留カードを提示すれば、大学生料金1,500円が1,100円になる割引制度を映画興行組合の協力により継続実施した。

ウ 「グローバル人材活用セミナー&交流会」の開催協力

北九州市との協働事業として、留学生が就職活動の際に地元の企業にも目を向けるきっかけとなるよう、企業向けセミナー、グローバル人材向け講座及び地元企業とグローバル人材の交流会開催に協力した。

実施日：11月16日（月）

参加者：企業向けセミナー：29人

グローバル人材向け講座・交流会：52人 交流会：地元企業8社

③ 関原北九州大連友好基金事業

北九州市と大連市との友好交流に熱い情熱を燃やし、交流の発展を願い続けた故関原一夫・貞子ご夫妻のご遺志により、関原北九州大連友好基金が設立された。

亡きご夫妻のご遺志に添い、大連市との幅広い交流に生かすため、特に若者の将来に期待し、下記の事業を行った。

ア 大連市留学生奨学金支給

大連市出身若しくは大連市内の大学及び専門学校を卒業した人で、北九州市内の大学、短大等に留学している3人に、月額2万円を支給した。

イ 大連市大学生奨学金支給

大連市内の大学の日本語学科に在学中の中国人学生で、日本語を学び、且つ優秀な学力を有する者3人に、月額500円を支給した。

④ 留学生日本語弁論大会

母国を離れ日本で暮らす留学生たちが、日本での様々な体験を通じて感じたこと、考えていることを日本語で発表する場を提供した。

日本人にとっても留学生の声に耳を傾けることで様々な価値観や日本の姿を見直すきっかけとなるよう、また、留学生の日本語の上達に資することから、将来、国境を越えた国際交流への一助となることを願い本大会を開催した。開催にあたり八幡法人会、北九州小倉ライオンズクラブ、NPO法人北九州市国際文化交流協会の協力を得て実施した。

開催日：12月13日（日） 発表者：10人（中国9人、韓国人1人）

⑤ 留学生関係機関連絡会

北九州市内の各大学・短期大学・高等専門学校で勉強している留学生をめぐる諸問題について、留学生担当で協議し、その解決に向けての方策等の検討及び意見交換の場として、年1回開催した。

開催日：3月9日（水） 会場：九州国際大学地域連携センター 会議室

(4) 青少年交流の促進事業

市内の青少年が、将来グローバルに活躍できる人材となれるように、海外の青少年との相互交流を促進した。

① 仁川市との青少年相互派遣

青少年の育成のみならず、姉妹都市である仁川市との交流をより一層深めることを目的に、青少年を相互に派遣する事業を仁川国際交流財団と協働で実施した。本年度は、仁川市の青少年（中学・高校生）が北九州市を訪問しホームステイ、レクリエーション、宿泊型の交流活動を行った。

開催期間：8月1日（土）～4日（火）

参加者数：仁川市青少年9人、北九州市青少年18人、受入れホストファミリー8家族

(5) 市民ボランティアの育成

協会に登録したボランティアやグループの活動を支援し、その育成を図った。

① 協会ボランティア（登録数は2016年3月31日現在）

- ア 行政通訳ボランティア（登録 87 人） 区役所や学校など市の機関などでの通訳を行う。
【言語別内訳（重複あり）：中国語 34 人、英語 16 人、韓国語 12 人、インドネシア語 9 人、
タガログ語 7 人、ポルトガル語 4 人、タイ語 3 人、スペイン語 3 人、ベトナム語 2 人、
他言語 3 人】
- イ 医療通訳スタッフ（登録 45 人） 医療機関などでの通訳を行う。
【言語別内訳：中国語 24 人、英語 15 人、韓国語 6 人】
- ウ 災害時通訳サポーター（登録 58 人）
災害時、北九州市から依頼があった場合、災害対応業務の通訳や翻訳を行う。
【言語別内訳（重複あり）：中国語 24 人、英語 15 人、韓国語 7 人、インドネシア語 4 人、
タガログ語 4 人、ポルトガル語 2 人、他言語 4 人】
- エ 専門家相談通訳ボランティア（登録 5 人）
専門家相談会での通訳を行う。
- オ 中国帰国者交流支援ボランティア（登録 8 人）
中国帰国者との交流会や支援事業の運営補助や通訳を行う。
- カ ホストファミリーボランティア（登録 83 家庭）
留学生や J I C A の研修員などの外国人を自宅に招いたり、一緒に外出するなどの交流
を行う。
- キ 外国人親子のためのほんごひろばボランティア（登録 12 人）
「放課後にほんごひろば」や「夏休みにほんごひろば」に参加している外国人児童生徒
及び帰国児童生徒に対して学習サポートを行う大学生ボランティア。主に宿題や教科学習
の補助などを行う。（九州女子大学、産業医科大学、九州産業大学）

② ボランティア育成講座の実施

- ア 行政通訳者フォローアップ研修
開催日：6 月 27 日（土） 会 場：八幡西生涯学習総合センター 会議室
講 師：北九州市八幡西区役所保健福祉課
内 容：介護保険制度について 受講者：24 人
- イ 多言語ママパパサポーター養成講座
子育てを行う外国人の父親、母親を支援するため、妊娠や出産・子育て等に関する知識
があり通訳も出来る人材を育成し、医療機関や行政機関、子育て支援機関や外国人市民宅
に派遣した。
開催日：7 月、9 月、10 月（全 7 回、いずれも土曜日に実施）
講 師：M I C かながわ医療通訳者 三木紅虹氏、アビー・ニコラス・フリー氏
R A S C 西村明夫氏、医師、看護師、検査技師、薬剤師、保健師など。
受講者：26 人（うち合格者 24 人（英語、中国語、韓国語））
- ウ 地域日本語教室ボランティアスキルアップ教室
開催日：8 月 30 日（日）、11 月 7 日（土） 受講者：のべ 38 人
講 師：長崎外語大学特任講師 神吉宇一氏
海外人材育成協会日本語講師 澤田幸子氏

エ 医療通訳者フォローアップ研修

開催日 9月19日(土) 受講者:31人

講師:協会職員、保健所保健予防課、(有)ネイバーズ

内容:支援機関などの知識、母子保健制度、保健衛生、通訳技術

オ 日本語ボランティア入門講座

開催日:10月24日(土) 受講者:53人(一般公募)

講師:福岡教育大学非常勤講師 佐藤倫子氏 及び市内各区の日本語支援グループの代表者

カ 行政通訳入門講座(英語・中国語・韓国語以外の言語)

開催日:11月18日(水)19日(木) 講師:協会職員 受講者:5人

キ 災害時通訳サポーターのフォローアップ(再掲)

ク 中国帰国者交流ボランティア会話パートナー研修(再掲)

4 その他

広報活動

市政だより

北九州市が月2回発行する市公報「市政だより」に、協会が実施する事業やイベント情報等を掲載し、協会のPRに努めた。 掲載件数:67件

テレビ・ラジオ・新聞による報道

テレビ・ラジオ・新聞等から事業に関する取材を受け広報を行った。

取材及び広報件数 テレビ:7件、ラジオ:2件、新聞:1件

「北九州国際交流協会だより」の発行

年2回、賛助会員に送付するとともに、随時改訂を行って協会その他に配架し、協会の事業をPRした。

災害義援金等

キーネットと連携して募金箱を設置し、日本赤十字社を通じて、現地での救護、復興活動を支援することとした。

【南太平洋サイクロン災害救援金】

設置期間:平成27年3月25日~平成27年5月29日 8,876円

【ネパール地震救援金】

設置期間:平成27年4月30日~平成27年7月30日 24,164円

【台湾地震救援金】

設置期間:平成28年2月10日~平成28年3月14日 21,577円

Ⅲ 平成27年度決算

1 貸借対照表(総括表)

平成28年3月31日現在(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	18,110,325	15,663,462	2,446,863
未収金	2,965,744	5,937,299	▲ 2,971,555
前払費用	0	26,730	▲ 26,730
流動資産合計	21,076,069	21,627,491	▲ 551,422
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	299,637,500	298,414,500	1,223,000
定期預金	362,500	1,585,500	▲ 1,223,000
基本財産合計	300,000,000	300,000,000	0
(2) 特定資産			
留学生等支援資金積立資産	52,196,504	52,266,111	▲ 69,607
特定資産合計	52,196,504	52,266,111	▲ 69,607
(3) その他固定資産			
車両運搬具	246,508	502,178	▲ 255,670
什器備品	798,694	13,869	784,825
リサイクル預託金	8,830	8,830	0
投資有価証券	808,807	0	808,807
長期性預金	648,000	0	648,000
ソフトウェア	502,740	820,260	▲ 317,520
その他固定資産合計	3,013,579	1,345,137	1,668,442
固定資産合計	355,210,083	353,611,248	1,598,835
資産合計	376,286,152	375,238,739	1,047,413
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,426,963	1,843,574	1,583,389
前受金	286,000	194,000	92,000
預り金	458,403	524,814	▲ 66,411
未払消費税等	1,086,000	0	1,086,000
流動負債合計	5,257,366	2,562,388	2,694,978
負債合計	5,257,366	2,562,388	2,694,978
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄附金	152,196,504	100,000,000	52,196,504
指定正味財産合計	152,196,504	100,000,000	52,196,504
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(52,196,504)	(0)	(52,196,504)
2. 一般正味財産	218,832,282	272,676,351	▲ 53,844,069
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(52,266,111)	(▲ 52,266,111)
正味財産合計	371,028,786	372,676,351	▲ 1,647,565
負債及び正味財産合計	376,286,152	375,238,739	1,047,413

2 正味財産増減計算書（総括表）

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[6,059,368]	[4,702,178]	[1,357,190]
基本財産受取利息	6,059,368	4,702,178	1,357,190
特定資産運用益	[900,566]	[901,414]	[▲ 848]
特定資産受取利息	900,566	901,414	▲ 848
受取会費	[601,000]	[498,000]	[103,000]
受取賛助会費	601,000	498,000	103,000
事業収益	[4,967,464]	[5,310,882]	[▲ 343,418]
医療通訳派遣事業収益	10,800	17,240	▲ 6,440
中国帰国者支援受託事業収益	2,137,687	2,298,233	▲ 160,546
コミュニティ通訳等派遣業務受託事業収益	783,846	996,805	▲ 212,959
外国人市民の防災支援受託事業収益	383,745	403,444	▲ 19,699
多文化共生の担い手づくり事業収益	451,386	974,160	▲ 522,774
多言語ママパパサポート受託事業収益	1,200,000	0	1,200,000
北九州市国際人材支援ネットワーク設立準備業務収益	0	621,000	▲ 621,000
受取補助金等	[49,776,280]	[49,853,380]	[▲ 77,100]
受取北九州市補助金	49,441,000	49,458,000	▲ 17,000
受取その他の助成金	335,280	395,380	▲ 60,100
受取寄附金	[153,412]	[1,099,097]	[▲ 945,685]
受取寄附金	153,412	99,097	54,315
受取特定寄附金	0	1,000,000	▲ 1,000,000
雑収益	[704,071]	[828,883]	[▲ 124,812]
受取利息	4,205	3,547	658
その他雑収益	699,866	825,336	▲ 125,470
経常収益計	63,162,161	63,193,834	▲ 31,673
(2) 経常費用			
事業費	[62,074,206]	[63,884,634]	[▲ 1,810,428]
役員報酬	5,859,600	5,836,800	22,800
給料手当	26,979,162	27,194,325	▲ 215,163
臨時雇賃金	5,793,233	5,415,705	377,528
福利厚生費	6,741,178	6,850,181	▲ 109,003
材料費	76,482	108,659	▲ 32,177
奨学金	1,068,344	1,342,222	▲ 273,878
旅費交通費	1,683,482	1,929,434	▲ 245,952
通信運搬費	721,753	765,627	▲ 43,874
減価償却費	294,085	301,238	▲ 7,153
消耗什器備品費	115,236	131,240	▲ 16,004
消耗品費	554,645	448,624	106,021
車両費	215,561	235,885	▲ 20,324
印刷製本費	301,112	800,101	▲ 498,989
光熱水費	1,832,755	1,918,758	▲ 86,003
リース料	150,822	150,822	0
使用料賃借料	3,762,193	3,351,073	411,120
災害保険料	123,464	210,808	▲ 87,344
報償費	1,596,273	2,567,470	▲ 971,197
租税公課	1,044,538	368,516	676,022

支 払 負 担 金	250,000	310,000	▲ 60,000
委 託 費	2,019,502	860,802	1,158,700
図 書 費	124,153	25,174	98,979
食 糧 費	465,539	147,504	318,035
雑 費	301,094	2,613,666	▲ 2,312,572
管 理 費	[2,721,652]	[2,719,906]	[1,746]
役 員 報 酬	403,400	372,200	31,200
給 料 手 当	376,569	374,127	2,442
福 利 厚 生 費	102,570	107,828	▲ 5,258
会 議 費	32,198	27,834	4,364
旅 費 交 通 費	4,100	4,700	▲ 600
通 信 運 搬 費	12,732	14,529	▲ 1,797
減 価 償 却 費	317,520	317,520	0
消 耗 品 費	1,335	1,215	120
印 刷 製 本 費	2,268	1,393	875
光 熱 水 費	93,327	96,124	▲ 2,797
リ ー ス 料	7,938	7,938	0
使 用 料 賃 借 料	58,900	56,193	2,707
租 税 公 課	52,262	13,734	38,528
支 払 負 担 金	100,000	100,000	0
委 託 費	977,400	977,400	0
交 際 費	60,323	80,699	▲ 20,376
雑 費	118,810	166,472	▲ 47,662
経 常 費 用 計	64,795,858	66,604,540	▲ 1,808,682
当 期 経 常 増 減 額	▲ 1,633,697	▲ 3,410,706	1,777,009
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受 取 寄 附 金	[69,607]	[0]	[69,607]
受 取 寄 附 金 振 替 額	69,607	0	69,607
経 常 外 収 益 計	69,607	0	69,607
(2) 経常外費用			
除 却 損 失	[13,868]	[34,022]	[▲ 20,154]
什 器 備 品 除 却 損	13,868	34,022	▲ 20,154
指 定 正 味 財 産 へ の 修 正 振 替 額	[52,266,111]	[0]	[52,266,111]
指 定 正 味 財 産 へ の 修 正 振 替 額	52,266,111	0	52,266,111
経 常 外 費 用 計	52,279,979	34,022	52,245,957
当 期 経 常 外 増 減 額	▲ 52,210,372	▲ 34,022	▲ 52,176,350
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	▲ 53,844,069	▲ 3,444,728	▲ 50,399,341
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	272,676,351	276,121,079	▲ 3,444,728
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	218,832,282	272,676,351	▲ 53,844,069
II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
一 般 正 味 財 産 か ら の 修 正 振 替 額	[52,266,111]	[0]	[52,266,111]
一 般 正 味 財 産 か ら の 修 正 振 替 額	52,266,111	0	52,266,111
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	[▲ 69,607]	[0]	[▲ 69,607]
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	▲ 69,607	0	▲ 69,607
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	52,196,504	0	52,196,504
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	100,000,000	100,000,000	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	152,196,504	100,000,000	52,196,504
III 正 味 財 産 期 末 残 高	371,028,786	372,676,351	▲ 1,647,565

IV 平成28年度事業計画

本協会は、「多文化を受け入れ世界に開かれた魅力ある地域づくりと人づくり」という長期ビジョンの下、「1 外国人市民の支援」、「2 行政・民間団体連携」、「3 グローバル人材育成」の3つの分野における事業を実施する。

1 外国人市民支援事業（26,136千円） [27年度 19,242千円]

(1) 多言語による生活情報の提供（1,104千円） [27年度 1,075千円]

日本語を十分に理解できない外国人市民に対して、地域生活において必要となる情報を多言語で様々な媒体により提供する。

① 外国人市民への情報提供

外国人市民向けに毎月、英語・中国語・韓国語・やさしいにほんごでメールによる情報提供を行う。また、あわせて印刷版もスペース等で配布する。

② ホームページによる広報

日本語・英語・中国語・韓国語・やさしいにほんごによる多言語ホームページによるリアルタイムな情報提供を行う。

(2) コミュニケーション支援事業（25,032千円） [27年度 18,167千円]

コミュニケーションに困難を感じている外国人市民に対して、地域社会で孤立することなく日本人と共生できるように支援を行う。

① 外国人相談

日本語・英語・中国語・韓国語による相談員を増員し、八幡西区コムシティ及び小倉北区役所の外国人インフォメーションセンターにおける外国人相談及び情報提供の充実を図るとともに、在住人口の増加が著しいベトナム語による相談体制を構築する。また、専門家による法律、ビザ・入管関係、日常生活での悩みごとの無料専門相談会を毎月1回実施する。

② 行政通訳派遣

外国人市民への行政サービスの手助けとして、区役所や学校等から要請があった場合、行政通訳者を派遣するとともに、外国人インフォメーションセンター等での通訳サポートを行う。通訳者の登録については、より多言語の人材確保を図る。

③ 医療通訳派遣

外国人市民が安心して医療を受けられるように、病院からの依頼があった際に医療通訳者を病院に派遣する。また、利用の促進に向けた啓発・PR活動を強化する。

④ 外国人市民への防災支援

災害時に弱者となりやすい外国人支援のため、防災啓発や災害時通訳サポーターの拡充とフォローアップ研修を実施する。

⑤ 外国人子ども支援

多文化の子どもたちの日本語能力の向上と学習支援事業を実施する。

⑥ 生活者としての日本語学習支援

外国人市民を対象に、日本語の習得と生活情報の提供を目的とした協会主催の日本語教室を実施する。また、日本語コーディネーターを増員し、受講者のレベルに応じた学習内容に

対応できるよう充実を図る。

⑦ 地域日本語教室との連携

市内のボランティアによる地域日本語教室との情報交換を強化して連携を密にし、人材育成や学習者の発表の場を提供する等必要な支援を提供する。

⑧ 外国人日本語学習者へのエンパワメント支援

協会主催の日本語教室受講者に対し、就労や社会参画に役立つ講座を実施する等の支援を行う。

⑨ 中国帰国者の交流支援

中国帰国者が地域社会で孤立することなく、社会とのつながりができる居場所づくりを提供し、生活適応のための日本語学習会等を開催する。

2 行政・民間団体連携事業 (2,314千円) [27年度 2,198千円]

*再掲事業の予算額は除く

(1) 民間団体の支援・連携推進事業 (2,314千円) [27年度 2,198千円]

北九州地域の国際化及び多文化共生を推進するため、市民団体の活動支援や連携を図る。

① 北九州国際交流団体ネットワーク（キーネット）支援

キーネットの目的を達成するための活動を支援するため事務局として活動する。

② 民間団体の活動支援

本市の国際化及び多文化共生に貢献している民間団体の活動が、広く世間に評価されるように表彰事業に民間団体を推薦する。また、民間団体と連携・協働するとともに、民間団体が開催する事業の共催や後援、広報支援等を行う。

③ 地域日本語教室との連携（再掲）

(2) 行政との連携推進事業

① 行政通訳派遣業務（再掲）

② 外国人市民への防災支援（再掲）

③ 中国帰国者の交流支援（再掲）

④ 多文化共生の人材づくり（3-5に掲載）

多文化共生を担う人材の育成を行う事業を「北九州ひとみらいプレイス」において実施する。

3 グローバル人材育成事業 (14,274千円) [27年度 9,217千円]

(1) 国際理解教育の推進事業 (716千円) [27年度 736千円]

異なるものを理解・尊重する社会的な土壌をつくるために、市民を対象にした国際理解教育を推進する。

① 国際理解教育講師の派遣・紹介

小・中学生や異文化について興味のある市民を対象に、世界の文化や習慣を体験的に学習してもらうため、外国人市民等を国際理解教育の講師として小・中学校、市民センター等に派遣する事業を福岡県国際交流センター・福岡よかトピア国際財団・北九州国際交流協会の

協働事業として実施する。

② 国際交流員派遣

国際交流員を小学校や市民センター等に講師として派遣し、自国の文化等を紹介することにより市民の異文化理解を促進する。

③ 国際理解教育の推進

異文化理解を推進し多文化共生社会を推進するための事業の実施もしくは協力を行う。

(2) ホストファミリーの支援事業 (1,925千円) [27年度 1,927千円]

国際交流や異文化の体験を希望する家族をホストファミリーとして登録し、留学生等との交流の機会の提供や交流事業を実施する等、ホストファミリーの支援を行う。

① 留学生にこにこ家族・ホームビジット

大学等に通う留学生とホストファミリーとの長期交流を支援する「留学生にこにこ家族」を実施する。また、JICA研修員を家庭に招き、お互いの交流を通じて、相互理解と親睦を深めるホームビジットを実施する。

(3) 留学生等の支援事業 (3,260千円) [27年度 3,435千円]

市内の大学等に通う留学生に対して生活支援を行うとともに、留学生が日頃の考えを発表する機会を提供する。また、大連市出身又は大連市内の大学又は専門学校を卒業し、北九州市内の大学、短期大学等に留学している者に奨学金を支給する。

① 留学生への情報提供

新しく北九州に転入してきた留学生に対して、生活に必要な情報や協会の外国人支援情報等を提供する。

② 留学生支援

市内の留学生等を対象にした中古自転車のあっせん事業を実施する。また、各大学の留学生担当者による意見交換のため、留学生関係機関連絡会議を実施する。

③ 関原北九州大連友好基金

大連市出身又は大連市内の大学又は専門学校を卒業し、北九州市内の大学、短期大学等に留学している者3名程度に奨学金(月額2万円)を支給する。また、大連市内の大学に在学中の中国人学生で日本語を学び、かつ、優秀な学力を有する者3名程度に、奨学金(月額500円)を支給する。

④ 留学生弁論大会

北九州市内在住などの留学生が感じたことを発表してもらい、留学生の日本語学習の意欲増進と、日本人が留学生を理解する一助とするため弁論大会を開催する。

(4) 青少年交流の促進事業 (1,184千円) [27年度 1,444千円]

市内の青少年が、将来グローバルに活躍できる人材となれるように、海外の青少年との相互交流を促進する。

① 仁川市との青少年相互派遣

青少年の育成のみならず、姉妹都市である仁川市との交流をより一層深めることを目的に、青少年を相互に派遣する事業を北九州市及び仁川観光公社と協働で行う。

(5) 多文化共生啓発事業 (1,479千円) [27年度 1,649千円]

地域における多文化共生の推進のために、市民に対して多文化共生の地域づくりについて啓発を行い、多文化共生について考える機会を提供する。

① 多文化共生啓発

多文化共生についてより深く理解し身近に感じてもらうため、市民や市民団体等に対し学習会や講座、イベントなどを通して、多文化共生の啓発を行う。

② 多文化共生の人材づくり

多文化共生を担う人材の育成を行う事業を「北九州ひとみらいプレイス」において実施する。

(6) 市民ボランティアの育成事業 (25千円) [27年度 25千円]

北九州地域の国際交流や多文化共生を進めるための協力者として、その能力を十分発揮できるように、市民ボランティアの育成を図る。

① ボランティア育成講座の実施

協会事業をサポートするボランティアや、国際交流や多文化共生事業に関係する市民ボランティアの能力を向上させるため、講習会等を実施し、活動のための支援を行う。

(7) 外国人による地域づくり担い手育成事業 (5,685千円) [新規事業]

多文化共生の担い手となる外国人市民人材を発掘、育成するため地域連携コーディネーターを置き、外国人市民同士の共助支援や地域において活躍できる人材育成のプランづくりを行う。

① 多文化子育て共助プロジェクト(自治体国際化協会助成事業)

就労や子育てを経験した外国人市民によるニューカマーの外国人支援を目的に、行政やモデルケースとなる支援機関、団体へのヒアリングや視察、子育てを経験した外国人市民への聞き取り、座談会の実施等を通じて、共助を進めるキーパーソンを発掘し、その活躍の枠組みを整備するための調査を実施する。

② 多文化共生の担い手のための研修会

調査や各方面との連携から人選した、多文化共生キーパーソン外国人市民人材に対し、それぞれの個性を活かして社会参画するための研修会を実施する。

③ 多文化共生の担い手派遣学習会

コミュニケーション能力や個人の持つスキルが、日本人市民に対する多文化共生啓発に十分生かせると思われる外国人人材を市民センターや学校等に派遣するトライアル事業を実施する。

V 平成 28 年度予算

1 収支予算書

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日 (単位：千円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[4,091]	[4,526]	[▲ 435]
基本財産受取利息	4,091	4,526	▲ 435
特定資産運用益	[900]	[920]	[▲ 20]
特定資産受取利息	900	920	▲ 20
受取会費	[700]	[700]	[0]
賛助会員受取会費	700	700	0
事業収益	[2,913]	[5,403]	[▲ 2,490]
外国人市民への防災支援受託事業収益	404	404	0
コミュニティ通訳等派遣受託事業収益	999	999	0
人材育成受託事業収益	400	500	▲ 100
中国帰国者支援受託事業収益	1,110	2,300	▲ 1,190
多言語ママパパサポート受託事業収益	0	1,200	▲ 1,200
受取補助金等	[66,450]	[49,441]	[17,009]
受取北九州市補助金	64,450	49,441	15,009
受取自治体国際化協会助成金	2,000	0	2,000
受取寄附金	[400]	[400]	[0]
受取寄附金	400	400	0
雑収益	[694]	[490]	[204]
受取利息	4	20	▲ 16
その他雑収益	690	470	220
経常収益計	76,148	61,880	14,268
(2) 経常費用			
事業費	[77,010]	[66,297]	[10,713]
役員報酬	5,882	5,860	22
給料手当	36,481	29,239	7,242
臨時雇賃金	8,089	5,839	2,250
福利厚生費	8,469	7,014	1,455
旅費交通費	2,914	2,112	802
通信運搬費	688	999	▲ 311
減価償却費	281	260	21
消耗什器備品費	210	830	▲ 620
消耗品費	936	954	▲ 18
材料費	145	135	10
修繕費	50	50	0
車両費	259	250	9
印刷製本費	931	470	461
光熱水料費	1,959	2,034	▲ 75
リース料	143	143	0
使用料賃借料	3,693	3,329	364
災害保険料	118	121	▲ 3
報償費	2,900	1,796	1,104
租税公課	18	988	▲ 970
奨学金	1,100	1,360	▲ 260

食		糧		費	140	350	▲ 210
支	払	負	担	金	250	250	0
函		書		費	50	50	0
委		託		費	862	1,452	▲ 590
雑				費	442	412	30
管		理		費	[2,906]	[2,984]	[▲ 78]
役	員		報	酬	435	443	▲ 8
給	料		手	当	393	402	▲ 9
福	利	厚	生	費	111	108	3
会		議		費	50	50	0
旅	費	交	通	費	10	10	0
通	信	運	搬	費	15	10	5
減	価	償	却	費	318	318	0
消	耗	品		費	6	4	2
印	刷	製	本	費	3	3	0
光	熱	水	料	費	99	102	▲ 3
リ	一	ス		料	16	16	0
使	用	料	賃	料	163	149	14
租	税		公	課	0	30	▲ 30
交		際		費	75	75	0
支	払	負	担	金	100	100	0
委		託		費	977	979	▲ 2
雑				費	135	185	▲ 50
經	常	費	用	計	79,916	69,281	10,635
当	期	經	常	増	▲ 3,768	▲ 7,401	3,633
2.	經常外増減の部						
(1)	經常外収益						
固	定	資	産	売	却	益	
受	取	寄	附	金	等	振	替
經	常	外	収	益	計		
(2)	經常外費用						
經	常	外	費	用	計		
当	期	經	常	外	増	減	額
当	期	一	般	正	味	財	産
一	般	正	味	財	産	期	首
一	般	正	味	財	産	期	末
II	指定正味財産増減の部						
当	期	指	定	正	味	財	産
指	定	正	味	財	産	期	首
指	定	正	味	財	産	期	末
III	正味財産期末残高						

※前年度の一般正味財産期首残高は、前々年度の決算額で調整した金額である。

VI 役員名簿等

1 役員名簿

平成 28 年 7 月 1 日現在

役職名	氏名	備考
理事長	高城 壽雄	(公財) 北九州国際交流協会理事長
専務理事	高原 義弘	(公財) 北九州国際交流協会専務理事
理事	池本 綾女	副都心黒崎開発推進会議副幹事長
〃	井崎 宏	独立行政法人国際協力機構九州国際センター所長
〃	廣澤 洋子	北九州国際交流団体ネットワーク顧問
監事	有田 徹也	(株)福岡銀行取締役常務執行役員北九州本部長
〃	小石 佐織	北九州市企画調整局国際部長

2 市との特命随意契約の状況 (平成 27 年度実績)

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託 金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
外国人市民の防災支援事業	384	参加者の有無を確認する公募を実施した結果、当該業務を履行可能なものが1者しかいないことが確認されたため。	再委託なし				
中国残留邦人等日本語教室及び交流事業	2,138	中国残留邦人等に対する日本語教室等の実施経験を有し、八幡地区に居住する多くの中国残留邦人等の継続的な通学が見込める西部地区での教室開催が唯一可能な団体であるため。	再委託なし				
多言語ママパパサポート事業	1,200	参加者の有無を確認する公募を実施した結果、当該業務を履行可能なものが1者しかいないことが確認されたため。	再委託なし				
多文化共生の担い手づくり事業	452	北九州ひとみらいプレイスの「連携事業」の一環であり、プレイスに所属し、国際関連団体とのネットワークがある組織でないと履行が期待できない。	再委託なし				
合計	4,174		合計	0			